

2009年 4月30日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2009年4月30日】

団体名 まちの生ごみ活かし隊

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

一般家庭生ごみの地域循環プロジェクト～人と地球に優しいまちづくり～

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

水分約80%の生ごみを焼却すれば、無駄なエネルギーを費やしてCO₂やダイオキシンを発生させてしまいますが、堆肥化や飼料化で自然の食物連鎖に組み込めば立派な資源となります。そこで私達は04年より日野市第八小学校区内の一般家庭生ごみを回収して堆肥化(微生物のエサ)し、無農薬の元気野菜を作っています。障害者施設、牧場の堆肥化施設、休耕田、公園、交流センター、教育施設など、地域の社会資源と人材を活用して小さな循環を作ることで、「生ごみ減量」だけでなく、「地産地消」「障害者の雇用創出」「地域の居場所」「休耕田の活用と緑地の保全」「環境教育」「食育」など、全ての生きものに優しいまちづくりをめざしています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

22世帯から始まった一般家庭参加者は現在160世帯。その生ごみを週1回収し、当初八王子市の牧場の牛ふんと混ぜて堆肥化していましたが、08年10月の牧場閉鎖により、生ごみを畑に直接投入して1ヶ月で浄化させ、その場所で野菜や花を作る方法に変更しました。生ごみ回収と米ぬかボカシ作りは障害者施設が担当し、当会が畑の維持管理や生ごみ参加者の拡大、地域との連携などの運営を担っています。畑でできた元気野菜は、「野菜市」の定期開催や「ごみゼロ収穫祭」など、障害者と地域住民との交流ともなっています。隔月で「生ごみリサイクル通信」を発行して参加者配布及び全地域への回覧、「意見交換会」の開催で参加者へのサポート体制も確立し、生ごみへの異物混入・腐敗などの問題をクリアしています。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

地域の社会資源と人材を活用することで、新しい堆肥化施設などを作るコスト削減につながります。そこで日野市ごみゼロ推進課とも協働し、民間と行政の協働で生ごみ削減に取り組んでいます。当初は牛ふんと混ぜて堆肥化していましたが、牧場閉鎖のため、地域の畑に直接投入して良く耕し1ヶ月で浄化させる方法(長崎の「大地といのちの会」を参照)に変更しました。畑を「コミュニティガーデン」として位置づけ、生ごみが美しい花や元気野菜に生まれ変わる様子を「見える化」し、そのことは結果的に、「生きものは土から生まれて土に還る」ことを体験できる地域の拠点として、より地域に根ざした活動を展開できるようになりました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

07年度末に、障害者施設がリースで契約していた回収車が維持できなくなるという事態が発生。08年度は回収車のリース解約という申し出に対し、貴助成金にて当会が軽ダンプ車を購入することで活動を継続することができました。牧場の閉鎖、生ごみを投入する畑の確保など、突然の事態が次々に起こった年でしたが、これまで培った行政と地域住民とのネットワークで乗り越え、結果的に当会のインフラ整備が整い市民が耕す「コミュニティガーデン」という場の力を発揮できるようになりました。今後は、ESD(持続可能な開発のための教育)の視点で、「生ごみリサイクルで元気野菜作り」を保育園や学校関係施設で広げていければと思っています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○参考資料あり・特になし



週1回、心身障害者授産事業所「NPO法人やまぼうし・里山耕房くらさわ」のみなさんが、一般家庭生ごみを軽ダンプ車で回収します。



回収された生ごみは、コミュニティガーデン「せせらぎ農園」の畑に、直接投入します。



投入された生ごみは、耕耘して土と良く混ぜ合わせます。その後、動物よけにビニールシートをかぶせて週1回耕耘すると、約1ヶ月で生ごみは浄化されます。



1ヶ月後、カキガラ石灰で土を中和し、野菜を作付けます。3月15日、杉並区の環境学習の一環で訪れた見学者と、じゃがいもと一緒に植えました。



4月28日、すくすく育つじゃがいもと畑の様子です。左奥の建物は、手作りの休憩小屋です。



入り口は、フラワーガーデンとしていつもきれいな花を育て、景観としても美しい「コミュニティガーデン」をめざしています。